

東市民センター

「ブラック校則」テーマ

「子供の尊厳大事に」

評論家 荻上チキさん講演



ブラック校則の問題点を語る荻上さん

子供たちの支援に取り組むNPO「キッズドア」(東京都)などが進める「ブラック校則をなくそう!」プロジェクトで、スーパーバイザーを務める評論家、荻上チキさんが21日、東区の東市民センターで「問題校則を考える」と題して講演した。

ふくおか教育を考える会協議会の主催。荻上さんは校則を「特定の学校の中で適用するローカルルール」と定義し、「個人の自由を制約するなら相応の根拠が必要になる。教育者や学校は校則の合理

的な理由を説明する責任がある」と訴えた。

また一部の学校が校則で髪を黒く染めるよう強制していることについて「日本人で髪が黒くない人は1割程度いる。れっきとした差別で、合理的な根拠はまったくない」と強調。他にも防犯対策の禁止やスカートの長さ、下着の色の規制などのブラック校則を例示した上で「絶対に校則を見直すことと、子供の尊厳を傷つけないことが大事だ」と話した。

【四編正法】